

～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 慢性子宮内膜炎の診断における子宮鏡検査の意義についての後方視的検討』
研究機関名 東邦大学医療センター大森病院
研究責任者 産科婦人科学講座 職位・氏名 講師・福田 雄介

【研究の目的】

慢性子宮内膜炎は原因不明の不妊症や習慣流産との関連性が指摘されている新たな疾患概念で、生殖領域において注目されています。

慢性子宮内膜炎の診断は子宮内膜の病理組織診断で行われていますが、近年、より侵襲の少ない子宮鏡を使用した診断方法も採用されています。しかし現状では病理組織診断と子宮鏡所見の相関性が十分に証明されていません。

本研究は東邦大学医療センター大森病院産婦人科およびリプロダクションセンターで実施した子宮鏡検査の所見と、子宮内膜の病理組織診断による慢性子宮内膜炎の診断との関連性を検討することで、慢性子宮内膜炎診断における子宮鏡検査の意義を検討することを目的として計画しました。

この研究で得られる成果は当院でより質の高い生殖医療を提供すること、また医学学会や学術誌への公表を通じて、わが国の生殖医療の更なる向上につながります。

【研究対象および方法】

この研究は東邦大学医療センター大森病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

対象者：2017年6月～2021年6月までに東邦大学医療センター大森病院産婦人科およびリプロダクションセンターにおいて、子宮鏡検査および子宮内膜病理組織診断を施行した不妊症患者様

方法：診療録(カルテ)から抽出したデータを個人同定につながる情報を削除して収集し、解析します。

【研究に用いられる試料・情報】

情報：子宮鏡検査所見、病理検査結果、超音波検査所見、血液検査結果、既往歴、不妊治療歴、妊娠・分娩歴 等

【個人情報について】

患者様のお名前、住所等、個人を特定できる個人情報はすべて削除したうえで、検査結果等のみを研究に利用させていただきます。

また、今回の研究で得られた成果を医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報を利用することはありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。その場合でも患者様に不利益になることはありません。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大森病院 産科婦人科学講座
職位・氏名 講師・福田 雄介
電話 03-3762-4151 内線 6675